

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 243

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	3. 民生費 - 1. 社会福 - 4. 高齢者 現年		
事業名	敬老祝い事業				
細事業名	敬老祝い事業				
評価表作成者				市民福祉部 高齢福祉課	八木 裕也

1. 事業の概要

各地域で開催される敬老事業について、70歳以上の方を対象に助成金（1人当たり2,100円）を交付する。又、米寿（88歳）及び白寿（99歳）を迎えられた方に対し、記念品等を贈呈し長寿を祝った。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

高齢者の方を敬愛し長寿を祝うと共に、市民が老人福祉についての関心と理解を深めるため、敬老事業を実施した区等に対し支援を実施する。又、高齢者の方に対するこれまでの労苦へのねぎらいと長寿をお祝いするため、米寿祝や白寿祝を実施する。

② 事業を実施する必要性

多年にわたり社会に尽くされてきた高齢者の方への敬愛の思いを込めて、長寿を祝うことは必要である。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	18,853	17,982	17,230	17,171	18,874	20,598	20,873
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	7,639	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
一般財源	千円	18,853	17,982	17,230	9,532	18,874	20,598	20,873
職員等の従事人員	人/年	—	0.32	0.30	0.30			
人件費	千円	—	2,208	2,096	2,139			
事業費総額	千円	—	20,190	19,327	19,310			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

敬老事業補助金	15,867,911円	（負担金、補助及び交付金）
米寿お祝い	801,990円	（報償費）
白寿お祝い	490,950円	（報償費）

5. 事業結果の概要

敬老祝い事業	180地域、対象者数	7,560人
米寿祝	対象者	201人
白寿祝	対象者	9人

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

平成21年度より市内全域で補助金単価を統一し実施している。高齢者を敬い長寿を祝うと共に、地域住民が老人福祉についての関心と理解を深めるために必要な事業である。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

高齢者の方を敬い長寿を祝うための敬老祝賀会等を各地区で積極的に取り組んでいただいた。平成21年度より、敬老事業補助金単価を統一し交付をしたところであるが、敬老事業の対象年齢については今後の検討課題である。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
敬老事業対象者年齢が適切かどうかの議論を行った。一人当たりの金額についても議論した。
- ②当該事業のアピール事業
老いを敬い長寿を祝うため各地区区長会等でお知らせをし、積極的に取り組んでいただいた。
- ③反省点、今後の展開・方向性
元気な高齢者が多い中、70歳が適当なのか今後も検討課題。敬老事業補助金単価については平成21年度で統一予定。